

全学斗通信

1968
12.20

「項目要求貫徹のための反対の全学斗に結集せよ」

八試中止をアコとした筑波移転の更なる推進と大学内鎖の策動をはねかえし 移転阻止を貫徹せよ！
日共・民青の八試要請・早期解決・教育大をまもれ・運動と対決し全学斗との大衆団交を1日攻勢でたちどれ！

学校生活たる教育大の選友諸君!! 田代の諭議院の文選教の八試中止の意向は、我々の筑波移転阻止等の事にござることを意味するのか、そして我々を素通りした「成績主義によるストの收容」であるが、内面の斗争を煽りに進めておくべきなのか、この處について、解説にしこねむばあらわい。

多軸を織りこなす推进派

六季開鎖の相場による必至のまきり返し
しと学生ストの切りくちし第初断碎

学友諸君!! 今や移転推進派は、政商・文部省の敗
筋を得て八試中止決定を手口に、大學開鎖の相場
をほこし、年面的教員を抱きこみつつ、移転推進体
制の再強化にわけ、その敗死のまきはえじをけがら
んとひこいる。理・体教授会、教研では、「1) も決
定採用もある必要なし」と全くひらきもあり、基本
路線を堅持する路線を強固にうち固め、生前の反対
論點を堅持する立場へと移行したうえで、政商・文
部省の対応は、生前の反対論點を堅持する立場へと
積さんとしているのだ。彼らは、一定に學生のスト
にさつて招集した教育大の流動化を、大學開鎖の出
発を防ぐ、國學斗による本館占拠を勧としたストラ
トégieを用いて、「ひきしめ・網表移転を強引に
相應せんとしているのである。彼らは、その彼等にとつて最
大の苦痛は、國學斗による本館占拠を勧としたストラ
トégieを用いて、「ひきしめ・網表移転を強引に
相應せんことを通り、彼らの失脚をはむかげてやり
ておけすことを通して、彼らの失脚をはむかげてやり

慎重反対・基督教と日共・民青の二着
にともる、10決定白紙撤回を素通りし
た早期事態収扱の教育大をまもれしの
運動をも紹介せよ!!

我々は、推進派の不穏される「まざまな最初を断
罪として相手と同時に、政府文部省の相場の傍に、
終盤に頑張る形の、いわゆる「民主的教育」のア
クティブル的で、教育大をまもれしの「早期事態収扱」
の運動をも紹介しておなねばならない。とりわけ日
本の運命が、かかる「民主的教育」と工著し、我々
は運命の争いに敵対しこくることが明らかた以上、
我々は、本件における日共・民青の「早期事態収扱」

にはおなねばならない。我々は、二つの像かと対決し
た「日共・民青の反対の全学斗に結集せよ」の
行動を貫徹することなくしては、移転阻止斗争の一
切の戦略はありえない。我々は、日共・民青を中心と
して右派プロットの解体を促進しつつ、文・理教授
会にかけた團交を通りて、10決定白紙撤回の条件
を成熟させると同時に、推進派の反対性のバクドと
慎重派のナマシズミを追求し、それと並行的に里
学斗との大衆団交実現めざし、E.G.本舖実全所組合
朝一国學斗体制の準備を政治的、軍事的に準備せ
ねばならない。そこで、そのための斗争体制を構築
せねばならない。1日攻勢を冒頭するためには、24

年後期の集会を、イデオロギー的運動的、組織的
な要素の集会を、イデオロギー的運動的、組織的

本日10時本館前での集会と評議会